**大阪“みなと”CNP検討会について**

**(1) 目的について**

**検討会は、大阪“みなと”におけるCNP形成計画の策定に向けて、関係者の意見を聴きながら、取組状況の情報共有やＣＮＰ形成に向けた具体的な取組の検討を深化させることを目的として開催する。**

|  |
| --- |
| **(開催要綱第１条)**  **大阪港、堺泉北港及び阪南港（以下｢大阪“みなと”」という。）において、水素、アンモニア等の次世代エネルギー利活用の需要と供給体制を一体的に創出するとともに、港湾機能の高度化や臨海部における環境に配慮した産業の集積を図る「カーボンニュートラルポート（ＣＮＰ）」の形成に向け、関係業界（団体・企業）及び有識者等の意見を聴きながら、大阪“みなと”及び全国的な取組状況の情報共有やＣＮＰ形成に向けた具体的な取組の検討を深化させることを目的として開催する。** |

**(2) 構成員等について**

**検討会は、①大阪“みなと”で仕事をしている主な事業者又はその団体、②大阪“みなと”を利用している主な船会社、③環境問題に取り組んでいる事業者のうち、大阪“みなと”で具体的な取組みの意向を示している者、④港湾運営会社、⑤有識者などで構成し、関係行政機関がオブザーバーとして参画して構成する。（開催要綱別表のとおり）**

**(3) 検討の内容について**

**検討会における検討内容は、12月に公表された「CNPの形成に向けた施策の方向性」に基づき、大阪港、堺泉北港、阪南港のCNPの形成を目指して行う。また、これらの観点に加えて、①計画期間、目標年次については、政府の温室ガス効果削減目標（短・中期目標2030年度、長期目標2050年度）等を踏まえた設定のほかに、2025年に開催される大阪・関西万博も念頭において検討する。②CNP形成計画の策定主体は港湾管理者であるが、大阪“みなと”全体を俯瞰し、連携した計画を目指した検討を行うものである。**